

新型コロナウイルス対策のためイベントなどを中止する場合があります。※指定管理者ホームページでお知らせします。

市民体育館

選会前日までに市民体育館窓口にお越しください。

▼ナイター7施設：午後7時
▼南二日町人工芝：午後7時30分
▼北上グラウンド、南二日町多目的広場、長伏Bグラウンドの抽選は、インターネット上で実施。抽選参加希望の場合

▼長伏A(日中)、長伏C、錦田グラウンド：午後6時30分

10月30日(金) (会場：市民体育館) **グラウンド抽選会(12月分)**

▼終日：10月19日(月)

トリンク

市民温水プール・長伏スケー

市民体育館(体育施設全般)・

10月の休館日

市民体育館

☎ 987・7570、FAX 987・2909

市民温水プール

☎ 980・5757、FAX 980・5775

スポーツ推進課

☎ 987・7571、FAX 987・8550

☎ 411・0033 文教町2・10・57

指定管理者ホームページ

<https://www.sports-info.jp/>

【凡例】 時とき・場場所・内容・講師・費用(記載なしは無料)・対象・定員・持ち物・注意事項・申込み(記載なしは不要)・問合せ

長伏スケートリンク営業再開

時10月1日(木)オープン

午前10時～午後4時

※受付：午後3時30分まで

費大人800円・小人500円

見学：大人150円・小人50円

(3歳未満は見学料金無料)

定感染症拡大防止のため、入場制限あり

持靴下・手袋(販売あり)

※ほか貸出物品あり

問長伏スケートリンク

☎ 977・3800

※詳細は指定管理者ホームページ

シンコーカップ硬式テニス

ジュニア大会

時11月8日(日)午前9時から

場文教テニスコート

因トーナメントおよびリーグ戦

※男女別シングルスのみ

費1人2000円※当日支払

対7歳から14歳(8、10、12、14歳以下の4クラスと初心者

クラスがあります)

定各クラス男女12人ずつ

※応募多数時抽選落選者に電話連絡

申・問11月1日(日)までに市民体育

館備付けの申込用紙に記入の上

直接またはFAXで市民体育館

市民活動団体

応援コーナー

三島フィルハーモニー管弦楽団 第47回定期演奏会

時11月7日(日)開演午後2時 場市民文化会館大ホール 因ソリストに元読売日本交響楽団主席ソロ・コンサートマスターの藤原浜雄さんを迎えての情熱的な協演。曲目：チャイコフスキー交響曲第5番、ヴァイオリン協奏曲など 費▶一般：2,000円▶学生：1,000円 因600人 問事務局・土山 ☎ 971・5297

求職者職業訓練「医療・調剤事務科」 受講生募集

時3カ月コース：11月16日(月)～2月15日(月)※月曜～金曜日午前9時30分～午後3時55分 場シグマカレッジ沼津校(沼津市大手町2・4・1) 因診療所、病院、調剤薬局における医療・調剤事務作業を学ぶ 費受講料無料※別途テキスト代など 実費 因ハローワークで求職申込をしている失業者 因15人※選考あり 因10月16日

問までに住所管轄のハローワーク 問シグマカレッジ沼津校 ☎ 0077・78・5455

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、掲載した事業を中止・延期または内容変更する場合があります。

12月1日号への掲載の申込みは、10月23日(金)までに、広報情報課
☎ kouhou@city.mishima.shizuoka.jp、FAX 983・2719

歴史の小箱

No.389

河川水運と
渡し場にまつわる伝承

今回は河川を利用した水運と中郷地域に伝わる伝承を紹介いたします。

10月18日(日)まで、郷土資料館にて3市共同企画展「採る・捕る・獲る―富士・沼津・三島の狩猟・採集―」を開催中！

郷土資料館 ☎ 971・8228

三島の南端、狩野川に合流する大場川の右岸に位置する安久では、奈良・平安期の遺跡である伊勢堰・箱根田遺跡から河川を利用した輸送路が発見されています。駿河湾から狩野川、大場川や御殿川を利用し、伊豆国府に繋がる水運ネットワークの中間点に位置しており、物資の集積・積み替えを行う中継地、川の港「津」があったと考えられています。そのため、この地域では河川を利用した水運が発達していたことがうかがえます。

昔小字名川崎というところに渡し場がありました。川向こうの村人達は皆この渡し場を渡り、在庁道を通って三島の宿へ出ました。ある時川向こうの「お大尽様」が重い病にかかり、その妻は三嶋大社に願をかけました。ある日参拝の帰路、前日来的大雨で水かさが増し、流れの速くなった川の渡しにかかったところ、渡し舟は沈んでしまい、彼女は帰らぬ人となってしまいました。土地の人々は妻の立派な心根と哀れな最後に深く心を打たれ、供養塔を建てたということです。この伝承に出てくる供養塔と言われているものが、安久の小字河崎村にあります。通称「六角地蔵」と呼ばれる諏訪神社の宝篋印塔です。伊豆には川崎の渡し伝承に酷似した「江尻の渡し」という伝承が残っています。文治三年(一一八七)七月十八日、仁田忠常(源頼朝に仕えた武士)の妻が、三嶋大社参の帰途、江尻の渡しで水死した事故の話です。その年の正月、忠常が重病を患い、妻は三嶋大社に我が命を縮めても夫の命を救いたまえと祈っていました。この経緯を



▲諏訪神社の六角地蔵

知っていた人々は、この水難は妻の祈りが聞き届けられたためではないか、誠に立派な妻であると称賛したそうです。この伝承は鎌倉幕府の編さんした歴史書『吾妻鏡』にも記載があります。江戸時代の地誌『豆州志稿』よれば、当時の狩野川は函南町柏谷と仁田の間を流れ、大場の南まで入り込んでおり、この江尻の渡しは大場南端付近にあったとされています。しかし、地形的に狩野川が大場まで入り込んでいたことは考えにくく、江尻の渡しは正確な場所はわかっていません。安久では江尻の渡しは川崎の渡しと同一の渡しなのではないかと考える人もいます。そのため、諏訪神社の六角地蔵は仁田忠常の妻の供養塔であるとも言われています。内容が酷似したふたつの伝承ですが、なにか関わりがあるのかもしれませんが。

ぼくの おじいちゃんおばあちゃん

当番 おおむら ゆうが さん

ぼくのおじいちゃん、すごいところは、いろいろな物を作れるところ。野菜も作れるし、いすや、たなも作れます。おばあちゃんは、料理がとってもおいしいです。料理の中に入っているおじいちゃん野菜も、すごいおいしいです。

おじいちゃんは、ぼくがわからない算数の問題も、いっしょに考えてくれます。ぼくのおじいちゃん、おばあちゃん、いいところもたくさんあります。

ぼくは、そんなおじいちゃん、おばあちゃんが大好きです。



海老名 司(73才) 美千代(71才)

大村 優牙(西小4年)